

## 情 報 公 開 文 書

研究の名称	小児思春期発症 Basedow 病の TRAb 値推移と寛解予測に関する後ろ向き観察研究
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学学術研究部医学系小児科学 病院特別助教 寺下新太郎
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> Basedow 病発症時年齢が 1～18 歳であり、2005 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日の期間に研究機関（富山大学附属病院または国立成育医療研究センター）に受診歴がある方が対象です。</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> Basedow 病は甲状腺刺激ホルモンの受容体に対する自己抗体（TRAb：Thyroid stimulating hormone Receptor Antibody）により過剰な甲状腺ホルモンが産生されて甲状腺機能亢進症状を来す疾患です。TRAb 値は治療とともに低下しますが、TRAb 値を予後予測に用いることができるかどうか、小児患者さんでは不明とされています。今回の研究により治療予後の予測的中率を上昇させることにより、適切な治療法・期間の提供につながる可能性があります。</p> <p><b>【研究の方法】</b> 電子診療録を用いて、TRAb 値の縦断的推移と Basedow 病治療の成否について検討を行います。すべての情報は個人が特定されない形で管理されます。</p> <p><b>【研究期間】</b> 実施許可日 ～ 2029 年 3 月 31 日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 国内外で開催される学術集会および医学雑誌において研究成果が公表される予定です。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	患者の性別、年齢、甲状腺疾患の家族歴、甲状腺機能検査、甲状腺画像検査、TRAb 値、抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体値、抗サイログロブリン抗体値を対象とします。取得した情報は主研究機関である富山大学で一括管理を行います。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	研究責任者：富山大学附属病院 病院長 林 篤志 共同研究機関：国立成育医療研究センター 病院長 笠原 群生
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学学術研究部医学系小児科学 病院特別助教 寺下新太郎
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話：076-434-2281 E-mail：sterashi@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名：富山大学学術研究部医学系小児科学 病院特別助教 寺下新太郎